地域包括ケア推進委員会企画

ためこみ症をともに学び、考える

-医療と福祉の連携を見据えて-

　九州大学病院精神科神経科教授であり、精神疾患の臨床と研究に長年取り組まれておられる中尾智博先生をお招きいたします。

今回の講義では、社会的にも課題となっています「ごみ屋敷」と呼ばれる状態の背景に、ため込み症が関わっている可能性について取り上げております。

今後不可欠となる医療と福祉の連携について、先生ご自身の模索を交えながら示唆をいただき、参加者の皆さまと共に、地域支援の新たな在り方を考える機会といたします。

【開催日時】 2026年　１月25日（日）13：30～17：0　（受付13：00～）

【会　　場】 エイムアテイン博多駅前貸会議室　５G会議室  
（福岡市博多区博多駅前3-25-24八百治ﾋﾞﾙ5階）

【定　　員】 30名

【参 加 費】 会員:2,000円　　県外会員:3,000円　　非会員(一般)：4,000円

【申込方法】 右記QRコードよりお申込みください。

【申込期限】 2026年　1月18日（日）

申込締め切り後、正式な案内をいたします

【スケジュール】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　　間 | 内　　　容 | 担　　　当 |
| 13：00～13：30 | 受　付 | 地域包括ケア推進委員会 |
| 13：30～14：30 | 講義：テーマ  ため込み症をともに学び、考える | 講師：中　尾 智　博　氏  九州大学病院 精神科神経科 教授 |
| 14：30～14：40 | 休　　　　　　　憩 | |
| 14：40～16：00 | 演習：ため込み症のケースから考える  　医療と福祉の連携の可能性 | 講師及び地域包括ケア推進委員会 |
| 16：00～17：00 | 意見交換 | 地域包括ケア推進委員会 |

**講師略歴**

中尾 智博 （なかお ともひろ）氏

九州大学病院 精神科神経科 教授。九州大学医学部卒業後、大学院で精神病態医学を専攻。強迫性障害やためこみ症、不安障害に対する認知行動療法と脳画像研究の第一人者。九大病院では外来・入院診療を担い、行動療法研究室を主宰し、臨床と研究を融合した取り組みを展開。災害支援や国際共同研究にも携わり、精神医学の発展と人材育成に尽力されている。

【お問合せ先・申込先】

公益社団法人福岡県社会福祉士会　事務局　﨑村

〒812-0011　福岡市博多区博多駅前3-9-12 アイビーコートⅢビル5F

TEL　092-483-2944　　FAX　092-483-3037

E-mail　[info@facsw.or.jp](mailto:info@facsw.or.jp)